



Stomp Box Modelers

DL4 / MM4 / DM4



株式会社サウンドハウス
Professional Sound Equipment
S p e c i a l i s t
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958

TEL:0476-22-9333 FAX:0476-22-9334

主な機能

プログラム・メモリー

Line 6 Stomp Box モデラーは気に入った音を保存し、いつでも呼び出す事が出来ます。これからは設定をエフェクターに鉛筆で書きこむ必要も無ければ、ライブで曲の間にしゃがんで設定を変更する必要もありません。Stomp Box モデラーでお気に入りの音を作り上げたら、メモリー・ロケーション・ストンプ・スイッチを3秒以上押しつづけると、そこに全設定が保存されます。

次から保存した場所のスイッチを押すだけで保存した音を呼び出せます。初期設定ではLine 6のおすすめな音をプリセットしてあります。初期設定を上書きしてもこの説明書の「隠れ機能」セクションには初期設定の修復方法の詳細がありますのでご参照下さい。

True Bypass & Delay Remain Bypass

Stomp Box Modelers にはメカニカル・スイッチング・リレーが装備されており、ペダルをバイパスする事が可能です。(使用しているストンプ・スイッチを押す事でエフェクトをオフにする事が出来ます。)このリレーは入力をダイレクト出力するため、バイパス中は信号への影響が全く有りません(アナログ-デジタル信号への変換も無し)。この説明書の「隠れ機能」セクションには Delay Modeler 用の別バイパス回路の設定が指定できます。この回路ではバイパス時においても、DSP が作動し続け、ペダルをオフにしてもディレイが突然切れず、徐々に消えていく仕組みになっています。

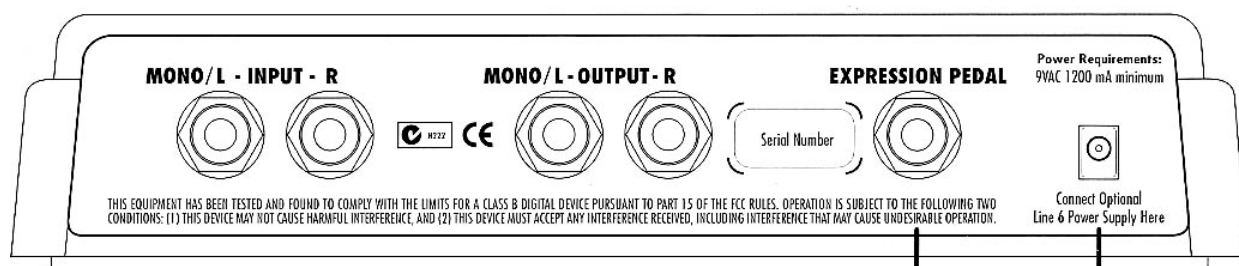
Battery or AC Power Operation

Stomp Box Modelers は単2電池を4本または付属のLine 6 AC アダプターで動作します。電池を使用する場合は、長持ちするアルカリ電池をお勧めします。電池の寿命は20~30時間です。使用していない時、left/mono 入力端子からシールドを外すことで電源が完全に切れます。電池の残量が少ない時にはペダルの4つのライトが点滅します。

リアパネル

接続説明 入力/出力

ラベルに表示されている通りに接続してください。使用していない時、left/mono 入力端子からシールドを外ことで電源が完全に切れ、電池の節電につながります。



Expression Pedal

エクスプレッション・ペダルに関する詳細は次のセクションをご参照下さい

Power Supply

Stomp Box Modeler は単 1 電池が付属しております。
SH では、Line6 用アダプターをお付けします。

DM4 DISTORTION MODELER

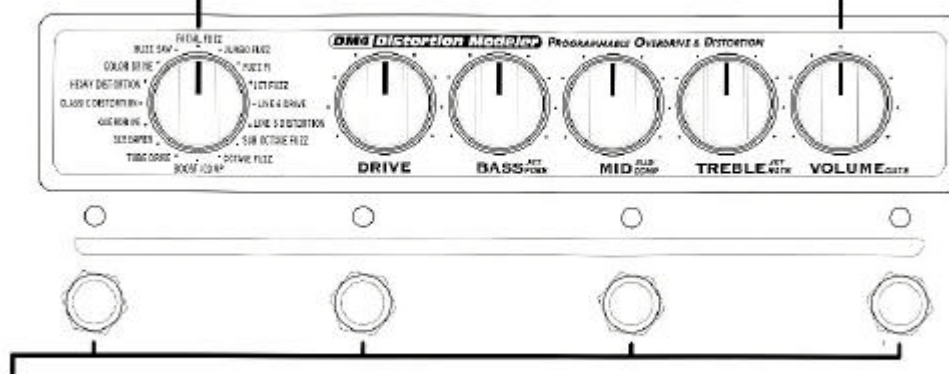
フロントパネル

Model Selector

このつまみでモデルを選択します。初期設定でもすぐに楽しめますが、好みに合わせてエフェクト設定を変更してみてください。モデル・ディテール・セクションに詳細がありますので参照下さい。

Volume

このつまみでボリューム調節を行います。反時計回りに回すとボリュームが下がり、時計回りに回すとボリュームが上がります。



Stomp Switches

ストップ・スイッチを押すと 4 つのメモリーに保存されているプログラムのうちの 1 つを呼び出します。(Delay Modeler には 3 つのプログラム・メモリーに加えタップ・テンポが装備われています) 選択されたメモリー上のライトが点灯し、エフェクトがかかります。もう一度押すことでバイパスします。エフェクトを保存する際は、ストップ・スイッチのいずれか 1 つ押しランプが点灯したら、音の調整を行ってください。設定が終了後、保存したいスイッチを選び、3 秒以上押し続けるとそのスイッチのメモリーに保存されます。

MM4 MODULATION MODELER

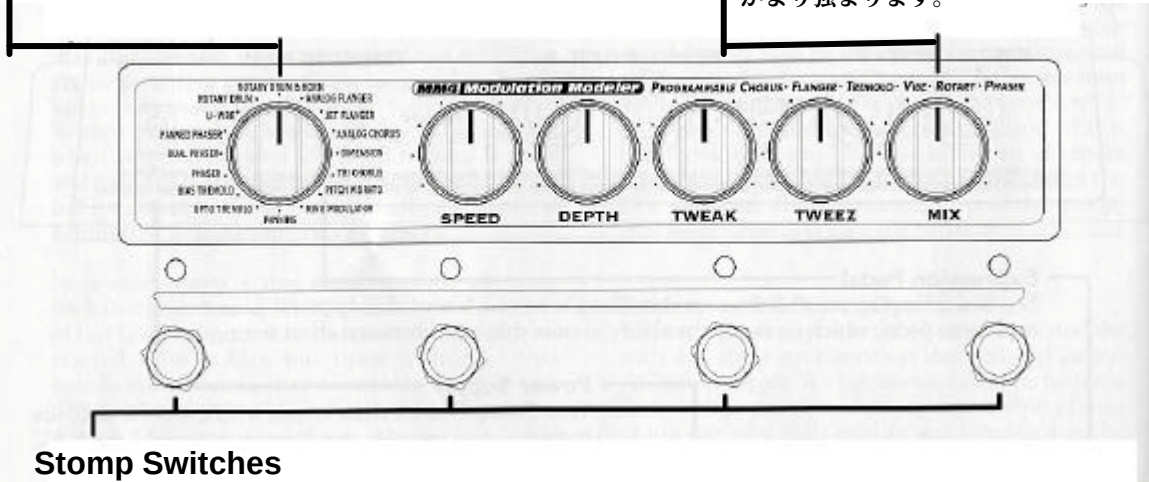
フロントパネル

Model Selector

このつまみでモデルを選択します。初期設定でも良い音を作り出しますが、好みに合わせて他のつまみの設定を変更してみてください。モデル・ディテール・セクションに詳細がありますので参照下さい。

Mix

このつまみで dry/direct/unprocessed 信号とプロセス信号をミックスします。反時計回りに回すと信号がドライになり、時計回りに回すとエフェクト信号がより強まります。



Stomp Switches

ストップ・スイッチを押すと4つのメモリーに保存されているプログラムのうち1つを呼び出します。(Delay Modeler は3つのプログラム・メモリーとタップ・テンポを装備しています) そのスイッチの上のライトが点灯し、エフェクト音が出ます。もう一度押すことでバイパスします。エフェクトを保存する時、ストップ・スイッチをどれか1つ押しランプが点灯しましたら、音の調整を行ってください。音作りが終了しましたら、保存したいスイッチを選び、そのスイッチを3秒以上押し続けるとそのスイッチに保存されます。

DL4 DELAY MODELER

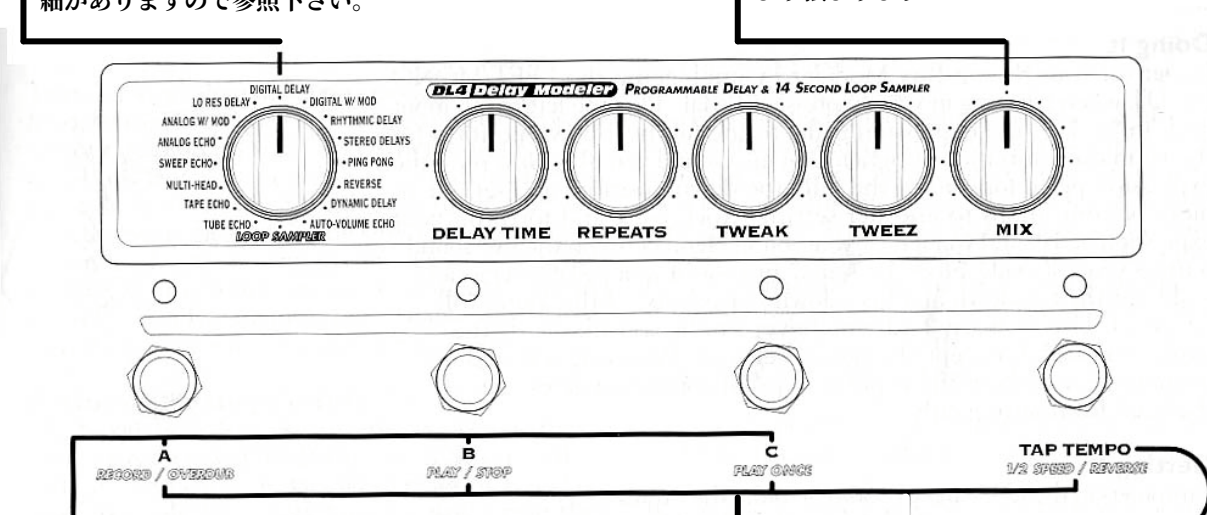
フロントパネル

Model Selector

このつまみでモデルを選択します。初期設定でも良い音を作り出しますが、好みに合わせて他のつまみの設定を変更してみてください。モデル・ディテール・セクションに詳細がありますので参照下さい。

Mix

このつまみで dry/direct/unprocessed 信号とプロセス信号をミックスします。反時計回りに回すと信号がドライになり、時計回りに回すとプロセス信号がより強まります



Stomp Switches

ループ・サンプラー以外のモデルではこのスイッチで3つのエフェクト・モデルを呼び出します。エフェクトを保存する時、ストップ・スイッチをどれか1つ押しランプが点灯しましたら音の調整を行ってください。音作りが終了しましたら、保存したいスイッチを選び、そのスイッチを3秒以上押し続けて頂くとそのスイッチに保存されます

Tap Tempo

タップしディレイ・タイムを設定します

Loop Sampler

Loop Sampler の詳細を参照下さい

概 略

オプションの Line 6 エクスプレッション・ペダルは 1 つかそれ以上のパラメーターを手を使わずにフットコントローラで調整できるというしくみです。

使用方法

エクスプレッション・ペダルを接続する際、Left/Mono 入力から配線を外し電源を切ってください。接続後 Left/Mono 入力を再度接続し、図の用にペダルがオフの状態にして音作りを行って下さい。次に、ペダルが完全にオンの状態にして下さい。これでエクスプレッション・ペダルを上下に動かすと 2 つの音の間を行き来します。この設定をペダルに保存しますと 2 つの設定が保存され、いつでも呼び出す事が出来ます。設定はモデル・セクター以外のつまみであれば変更を記憶します。エクスプレッション・ペダルを外した状態でこのプログラムを呼び出すとペダルがオフの状態の音を出します。

隠し機能スペシャル

Delay Remain バイパス

Stomp Box モデラーには機械的スイッチング・リレーが装備されており、ペダルをバイパスする事が可能です。このリレーは入力をダイレクト出力に経路指定するため、バイパス中は信号への影響が全く有りません（アナログーデジタル信号への変換も無し）。バイパスにはもう 1 つのモードがありバイパス中でも DSP を作動させ続けます。この機能でエフェクトを切ってもディレイは不自然に途中で切れることがなくなります。Delay リメイン・バイパス・モードを作動させるには、左から 1 番と 3 番目のストンプ・スイッチを押しながら Left/Mono ギター入力端子にシールドを接続して下さい（Left/Mono 入力端子にシールドが接続されるまで本体の電源は入っていません）。これで Stomp Box Modelers は Delay リメイン・バイパスの設定になります。再びこの操作(同じスイッチを押しながら電源を入れる)を繰り返すまで、Stomp Box モデラー は Delay リメイン・バイパス設定のままです。

Restoring Factory Presets

Stomp Box モデラーは初期状態でプログラムがメモリーに組みこまれています。新しく音を作り保存すると、この初期設定プログラムを上書きする事になります。初期設定プログラムを戻し、あなたが作った音を消したい場合の為に初期設定リストア・プログラムが用意されています。一番右と左のスイッチを押しつつ Left/Mono ギター入力端子にシールドを接続して下さい（Left/Mono 入力端子にシールドが接続されるまで本体の電源は入っていません）。

DL4

ディレイ・モデラーの詳細

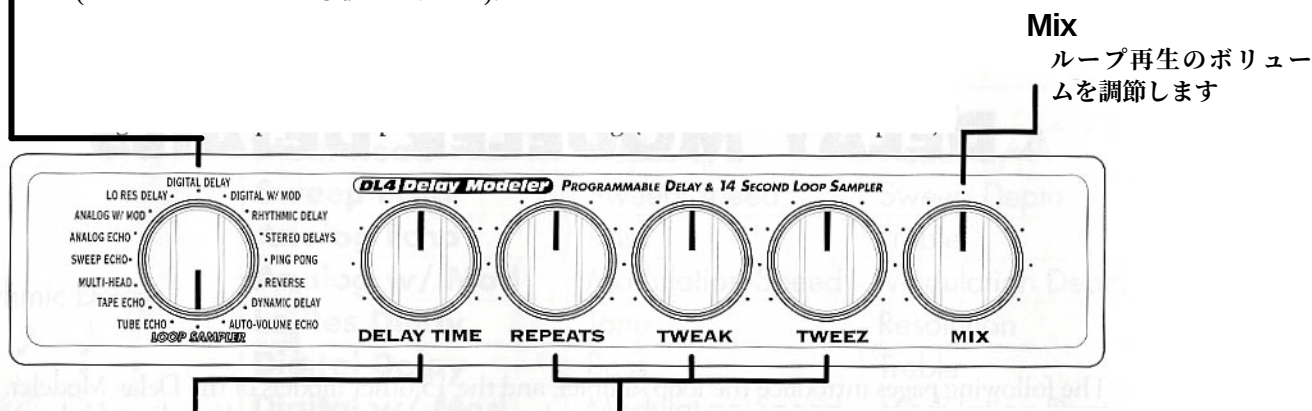
次のセクションではループ・サンプラーの詳細とディレイ・モデラーの 15 モデルを簡単に説明します。一つずつ試し、使いこなしてみてください。（このページを見ていただければ分かると思いますが、このモデラーは研究を積重ね夢のようなディレイのストンプ・ボックスとも言えるラックのコレクションを実現しました。

LOOP SAMPLER

KNOB FUNCTIONS

Model Selector

このつまみを使用してループサンプラーを選択します。ループサンプラーを選択している際、つまみやスイッチに特別な機能が割り当てられバイパス機能が無効になります。ループサンプラーはつまみの数値を記録します。次にループサンプラーを選択した時にはこの数値を呼び戻します。オプションのエクスペリメン・ペダルを使用することも可能です。ループは最大 14 秒の長さまで記録することが(ハーフスピードでは 28 秒となります)。



Delay Time (for Pre-Loop Echo)

ループサンプラーの前にエコー・ユニットを装備しています。最大 800 ミリ秒までの設定が可能です。このエコーはループサンプラーの前にあるため、ループサンプラーに記録させる時にエコーが録音できます。ループを再生する際、エコーが効いた音が流れます。そしてエコーをオフにしてループ上で弾いたり、エコータイムを変更して、オーバーダビングする事も出来ます。

Repeats (Pre-Loop Echo 用)

プリループ・エコーの回数を選択。

Tweak

プリループ・エコーにモジュレーションをかけるときに使用してください

Tweetz

プリループ・エコーのボリュームを変更

ループサンプラー

RECORD/OVERDUB&PLAY/STOP

フットスイッチ



RECORD/OVERDUB

一度押すと録音し始めます(ライトが点灯します)。録音中にもう1度押すと録音を終了します。すぐにループ再生が始まり、オーバーダビング・モードに入ります(ライトが点滅します)。オーバーダブを重ねる事で録音済みの音が少しずつ小さくなっていきそのうち消えます。

PLAY/STOP

録音したループをこのスイッチで再生、停止します。停止している状態からこのスイッチを押すと最初から再生が始まります(ライトが点灯します)。再生、オーバーダブの状態ですwitchを押すと停止します。録音中に押すことで録音が停止し、ループ再生が開始します。

ループサンプラー

PLAY ONCE & 1/2 SPEED/REVERSE

フットスイッチ



PLAY ONCE

このスイッチで“1ショット”のプレイバックをします。(PLAY ONCE をすると PLAY/STOP ライトがワンショットの再生中点灯します。) 停止からスイッチを押すとループが一度再生され、停止します。プレイから押すと ONCE モードに入り一度再生され、停止します。録音からスイッチを押すと録音を停止してワンショットの再生をすぐに始めます。PLAY ONCE がすでに選択されている場合、ループの最初から再生を始めます。オーバーダブの場合は PLAY を押

すのと同様です。

1/2 SPEED/REVERSE

このスイッチは2つの役目を持っています。1回のタップで1/2スピード、2回のタップでリバーになります。同時に使う事も可能です。

- ✂ 1回押して1/2スピードまたは普通のスピードに戻ります。一度1/2スピードにすると設定を消すまで1/2で再生を続けます。ライトが点灯します。

再生中:ループがノーマル速度で再生している時このスイッチを押すことでループが1オクターブ下がり1/2テンポで再生されます。2度押すことでループをノーマルテンポに戻します。(再生する前から1/2テンポにする事が可能です)

録音する場合:始める前にこのスイッチを1/2スピードに装備します。RECORD/OVERDUBスイッチを押し1/2スピードでの録音を開始します。録音を終了してから初めて再生する時はまだ1/2スピードのままです。ループを再生しているときにもう一度1/2SPEED/REVERSEスイッチを押すことでダブルスピード(普通速度)再生になります。

- ✂ 2度連続で押すことでリバーを開始または終了させます。(ライトはゆっくりと点滅します)

再生中:再生中に2度連続で押すことでリバー再生になります。もう一度2度連続で押すと再生(普通)に戻ります。再生する前にこれを行うことでリバー再生の準備をすることが出来ます。

録音する場合:この機能は録音中、使用できません。

オーバーダビング:一度ループを録音したら、1/2 SPEED/REVERSEスイッチを押すことによりリバー再生のループ上に録音することが出来ます。

Half SpeedとReverseを同時に使用することは可能です。(ライトが素早く点滅します。)

LOOP SAMPLER WACKINESS

奇妙な世界への第一歩



The Basic Run Down...

ギターとディレイ・モデラーを用意してください。TWEEZを最小値に設定し、プリループ・

エコーを消し、MIX のつまみを上（12 時の位置）に設定してください。アップ・テンポなギター・パートを弾き、気に入ったリフが出来上がったら、RECORD/OVERDUB スイッチを小節の頭で押してください。2 小節程録音したら PLAY/STOP ボタンを 3 小節の一拍目で押して下さい。タイミングが合うまで何度かやり直す必要があるかもしれません。

ループが納得いくものに仕上がりましたら、リード・パートを録音しましょう。TWEETZ でリード・パートにかかるエコーの調整を行います。（DELAY TIME と REPEATS でエコーの調節をし、TWEAK でエコーにモジュレーションを加え、MIX でループの再生音量を調節します。）

ループが再生されていない場合 PLAY/STOP スイッチを押しループを再生してください。準備が出来たら、RECORD/OVERDUB スイッチを押し 2 小節分ソロを録音してください（もう一度ループを再生させながらソロを弾くことでダブル・ソロになります）。リード・パートの録音が終了しましたら、RECORD/OVERDUB ボタンを再度押してください。この時点で録音は一度終了していますが録音したソロとリズムのループは再生を続行します。

このループを聞き飽きたら 1/2 SPEED/REVERSE スイッチを押し、1/2 スピードでの再生を開始します。そして、このスイッチを 2 度連続で押すことで 1/2 スピードの逆再生になります。RECORD/OVERDUB を押し、ループの上にギターを録音してください。録音が終わりましたら RECORD/OVERDUB スイッチを押し録音を押してください。1/2 SPEED/REVERSE スイッチを 2 度連続押し（逆再生が再生に戻ります）、最後に一度押すことで 1/2 スピードを解除します。このような事を 30 回程ほど続けると、とても面白い仕上がりになります。

それでも物足りない方には…

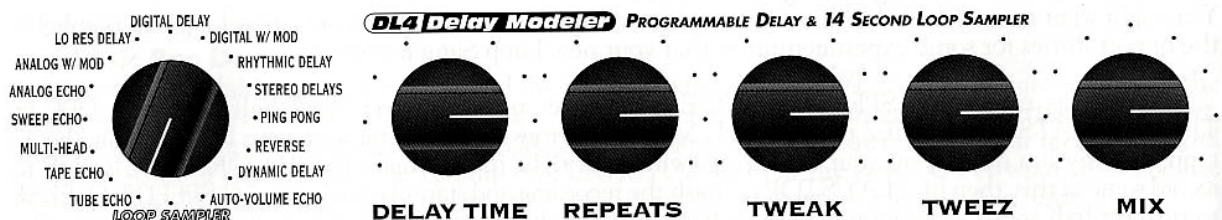
雰囲気を出すために部屋の照明を落としてください…これから録音する新しいループはループ・サンプラーが秘めている幅広い音作りの可能性を紹介します。

停止した状態から 1/2 SPEED/REVERSE スイッチを押し、1/2 スピードを装備してください。DELAY、TIME、REPEATS、TWEETZ を全て真上（12 時の位置）に設定してください。左手でギターの弦をミュートし、右手の人差し指で素早いリズムをギターの低い弦に叩き込んでください。RECORD/OVERDUB スイッチを押し、このリズムをループに録音して下さい。録音を終了するのに PLAY/STOP を押して下さい。これで録音したループの再生が始まります。1/2 SPEED/REVERSE を押して 1/2 スピードを解除してください。ループの再生が 2 倍の速度になります。1/2 SPEED/REVERSE スイッチを 2 度連続押しリバーズ再生にして下さい。今度は先ほどのループの上に録音するために RECORD/OVERDUB を押して下さい。低い E 弦の上にピックをこすり（ピック・スクラッチ）をしてからすぐに強いアタックとサステインを持つ適当な音を弾いてください。RECORD/OVERDUB を押し（録音を終了しループの再生が開始します）、1/2 SPEED/REVERSE スイッチを 2 度連続押し、幻覚状態(FREAK OUT)を味わってください！

Tube Echo

Echoplex: EP-1

1/4"テープに録音させその音を再生させるディレイ。再生ヘッドを移動させディレイ・タイムを調節。（チューブ使用）



テープのワウとフラッターを調節します。

ドライブを調節します。

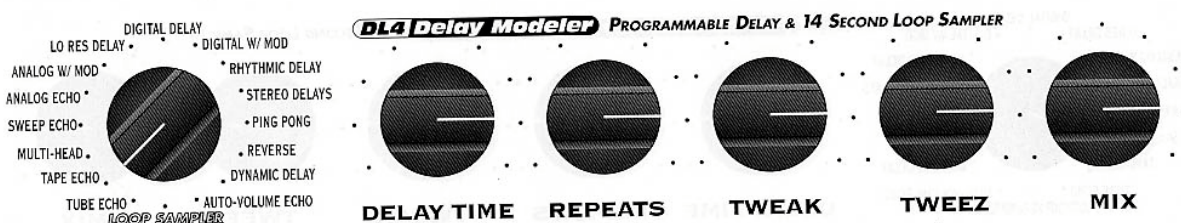
（ディストーションとテープのサチュレーションを調節）

Tape Echo

Echoplex: EP-3

EP-1 と同じシリーズだが、トランジスターを使用しているためディストーションがかからない。

emulation with adjustable tone controls.



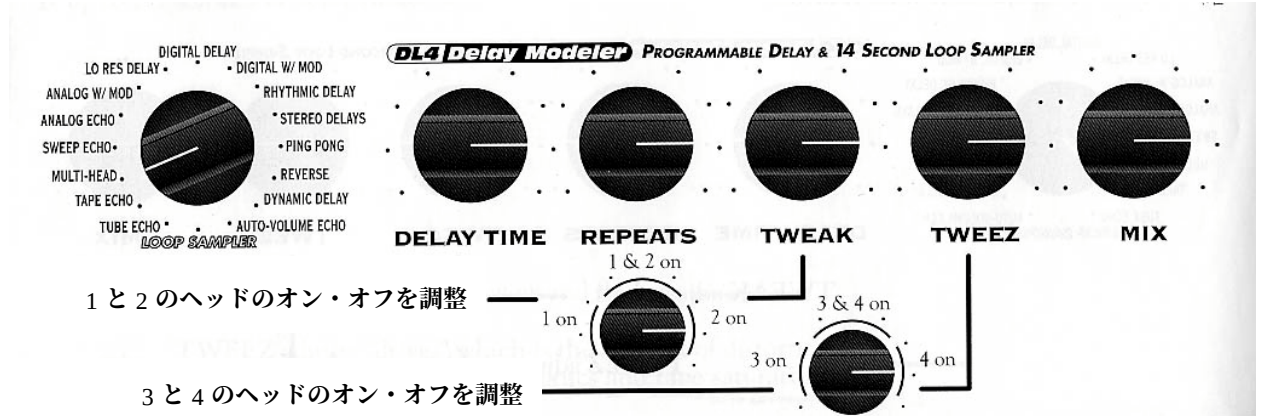
バスの調節。(低域周波)

トレブルの調節。(高域周波)

Multi-Head

Roland: RE-101 Space Echo

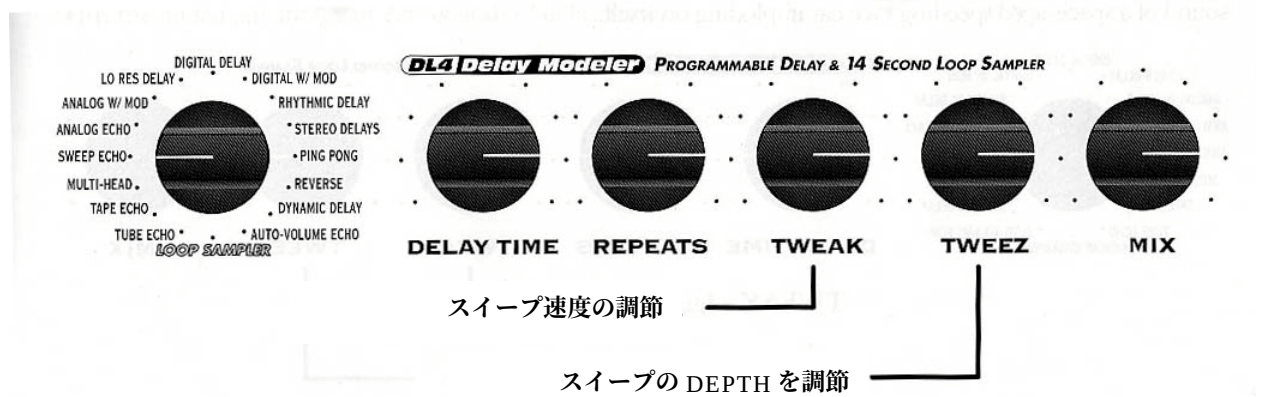
Echoplex のようにテープを使用するが、ヘッドを動かすのではなく、4 つのヘッドを選択しディレイ・タイムを調節。微調整はモーターの速度調節。一度に1つ以上のヘッドを選択できたため、マルチタップディレイが可能。



Sweep Echo

Line 6 オリジナル

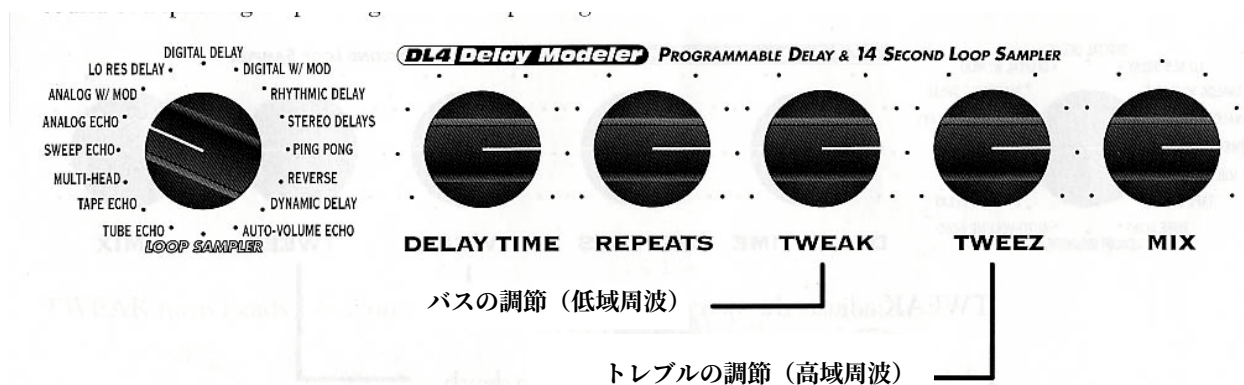
EP-1 のテープ・ディレイにスイープ・フィルター・エフェクトを加えたもの



Analog Echo

Roland (Boss): DM-2

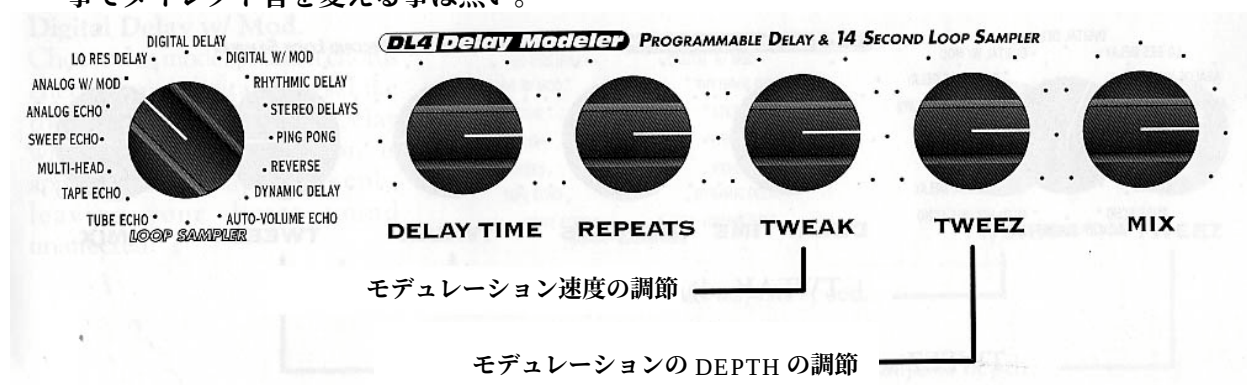
テープ・エコーとは違い、"bucket brigade" 電子技術を使用することで暖かく、ディストーションのかかった音が特徴です。音作りの実験を行うのに大変楽しいエフェクト。



Analog Echo w/Mod

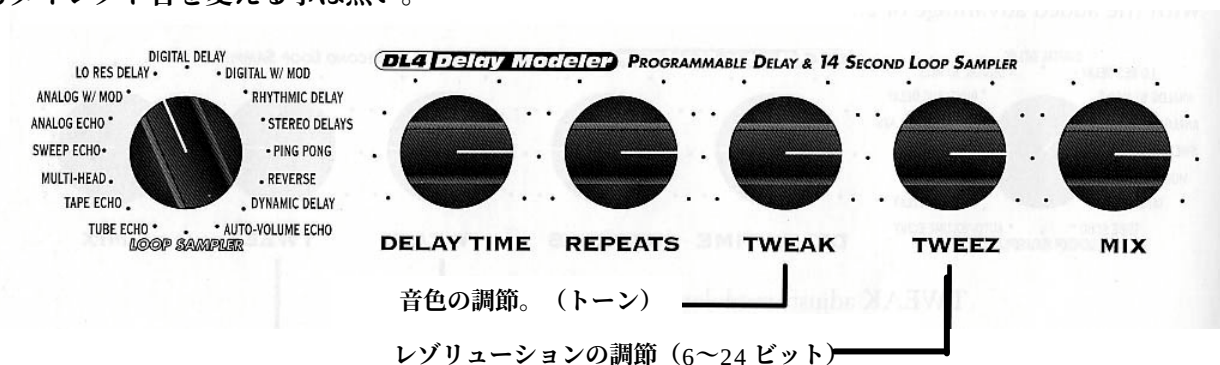
Electro-Harmonix: Deluxe Memoryman

”bucket brigade” 電子技術を使用し、コーラスを装備している。コーラスはエコーにのみかかる事でダイレクト音を変える事は無い。



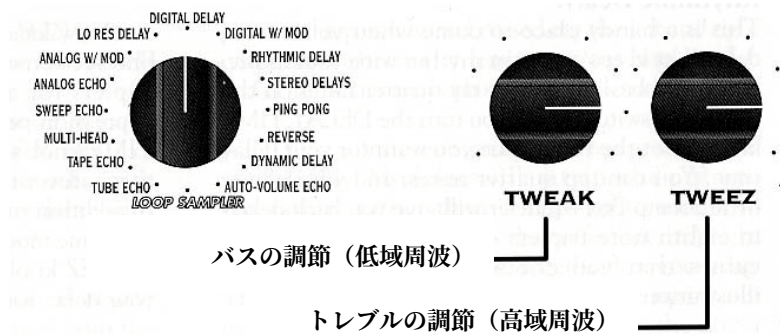
Lo Res Delay

ギタリストにさらに長いディレイを与えるために 80 年代に作られたエフェクト。このエフェクトもダイレクト音を変える事は無い。



Digital Delay

24 ビット・デジタル・ディレイ。ペダル・ユニットの中では最高級。



Digital Delay w/Mod

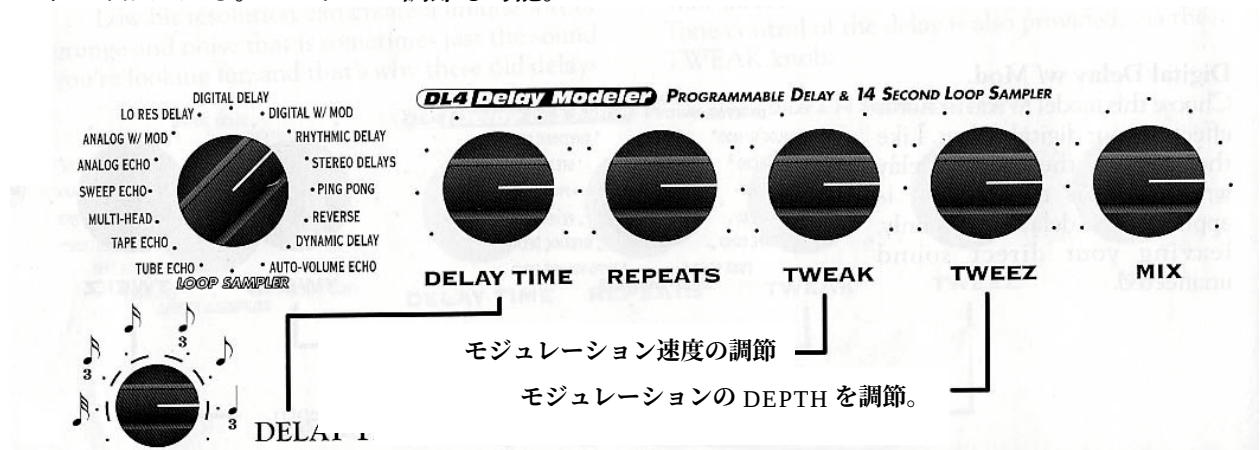
24 ビット・デジタル・ディレイにコーラスを加えた物。



Rhythmic Delay

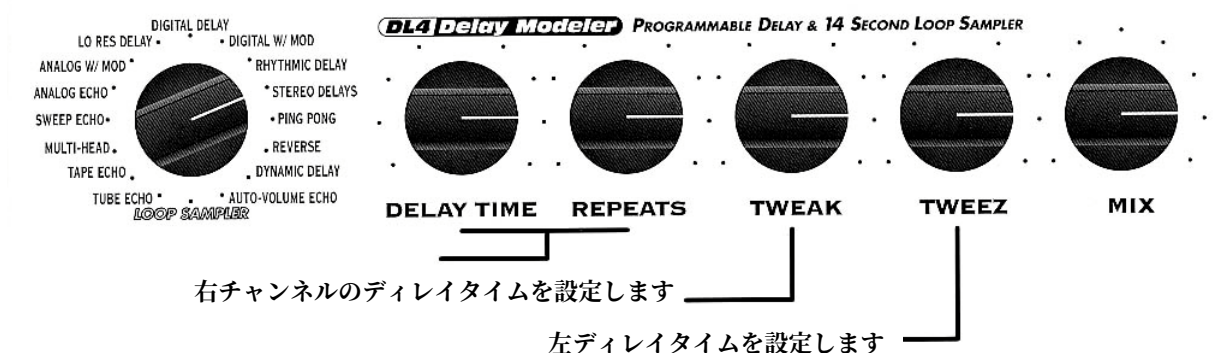
DEPTH の調節。

四分音符をテンポ・スイッチで入力し、ディレイ・タイムのつまみを使用し、テンポに合わせてディレイがかかる。コーラスの調節も可能。



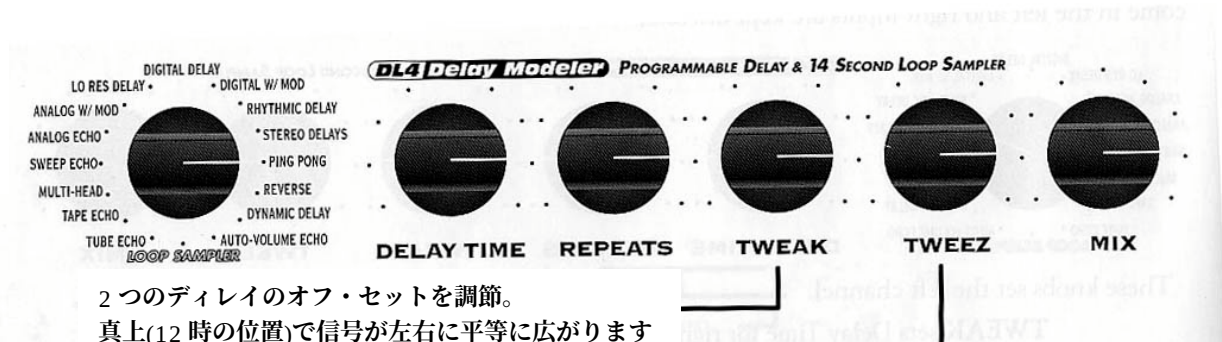
Stereo Delay

ステレオ・ディレイをかけます。ステレオなので左右の信号が別に処理されます。モノラル入出力の場合左右の信号は left/mono out から出力



Ping Pong

ディレイ信号がピンポンのように左右に移動

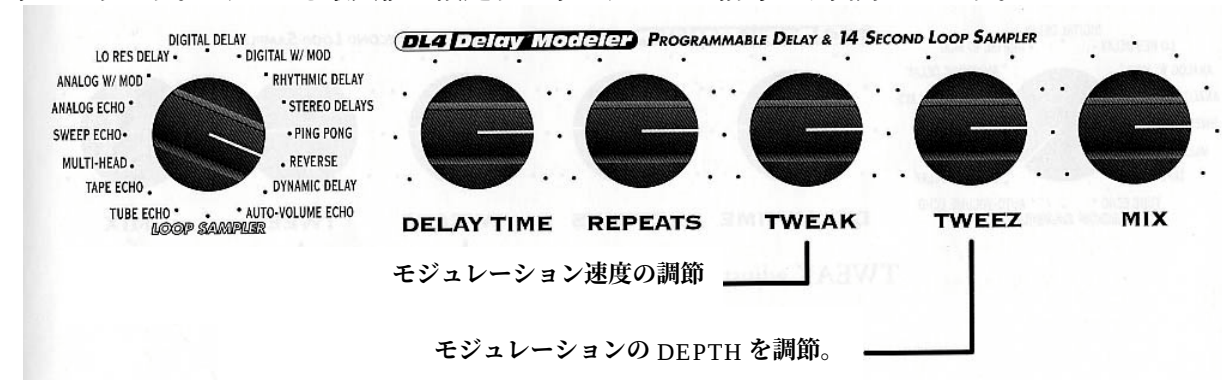


ステレオの広がり方を調節。
(最小値ではモノラル信号)

8

Reverse

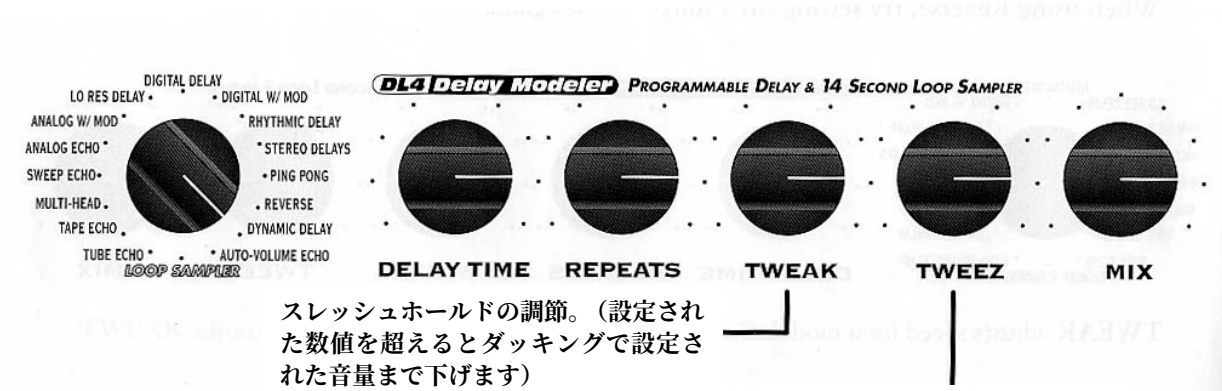
ディレイ信号が入力信号と逆再生になって出力されます。レガートのソロを引くと面白いソロの出来あがりです。(MIXを最大値に設定する事でディレイ信号のみ出力されます。)



Dynamic Delay

TC Electronics 等: 2290 Dynamic Digital Delay 等

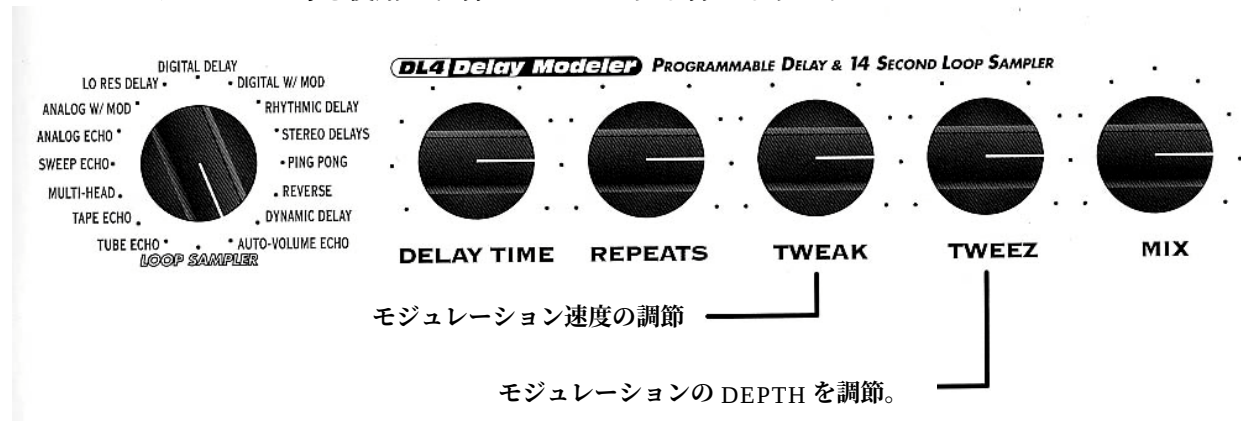
ディレイの音量を自動的に調節。入力信号がエフェクトを通っている時、自動的にディレイの出力音量をギターの基の入力音を上回らないよう下げてくれます。



9

Auto-Volume Echo

オートボリュームは弓を使用し、弾いているような音になります



MM4

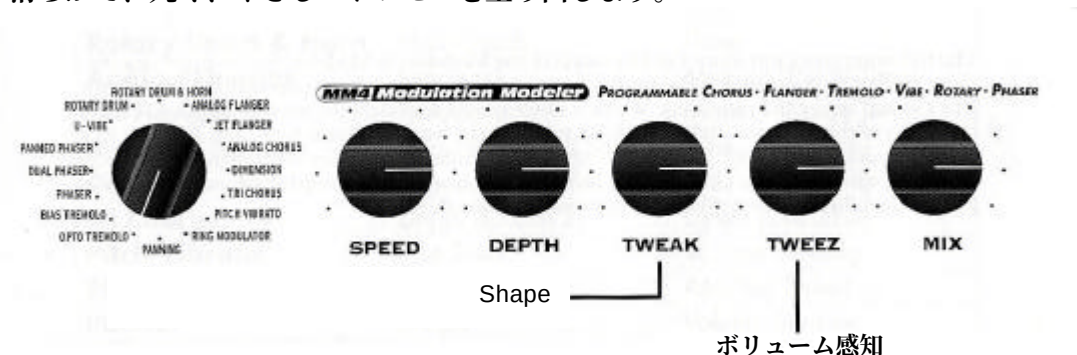
MODULATION MODELER DETAILS

次ぎのセクションではモジュレーション・モデラーの 16 モデルをシンプルに説明します。一つずつを試し、使いこなしてください。

Opto Tremolo

Fender: Deluxe Reverb Amp

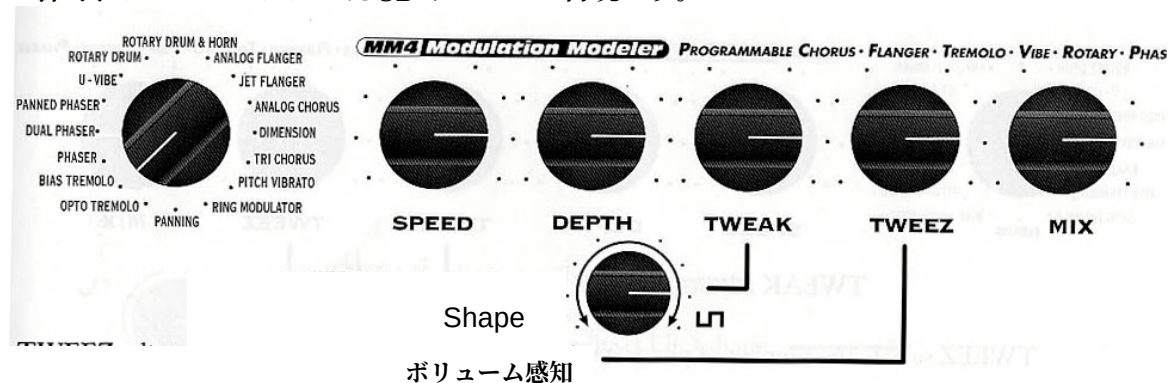
滑らかで、丸く、やさしいトレモロを生み出します。



Bias Tremolo

Vox: AC15 Amp

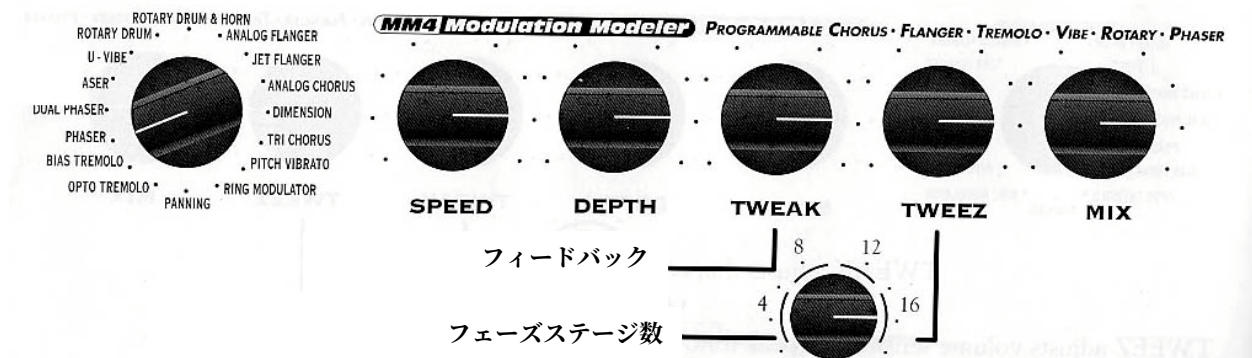
深く、フェーズのかかった 3D トレモロの再現です。



Phaser

MXR: Phase 90

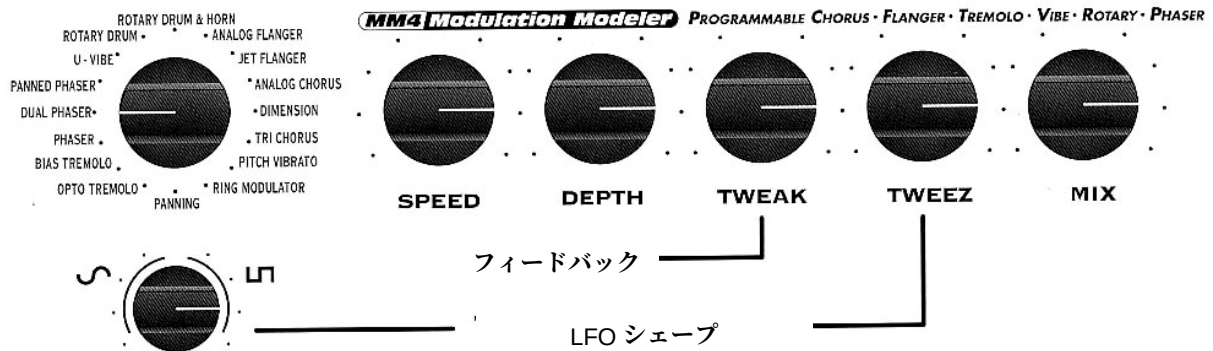
他のフェイザーに比べると、とてもおとなしい音を持つ。全体的な音に上手く溶け込む



Dual Phaser

Mutron: Bi-Phase

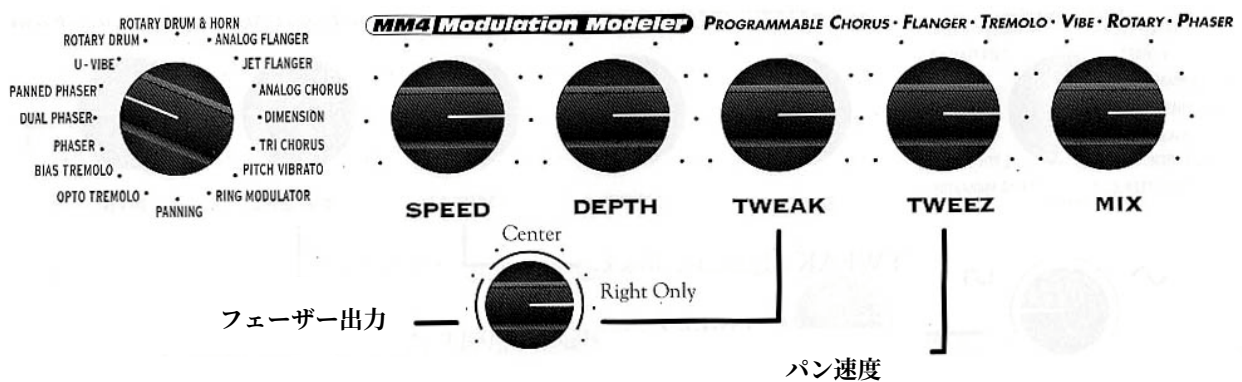
1つのエフェクトで2つのフェーザーが楽しめる素晴らしいエフェクト



Panned Phaser

Ibanez: Flying Pan

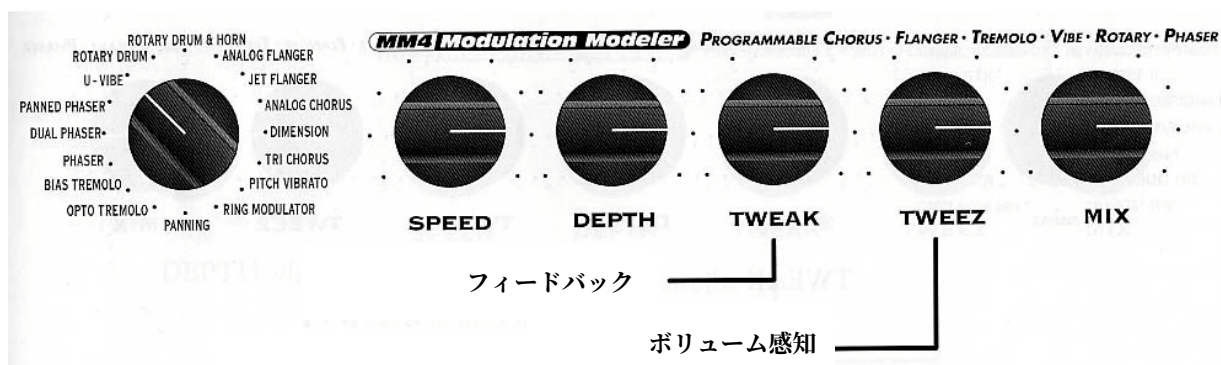
フェイザーとパンを一つのエフェクトに纏めた物。



U-Vibe

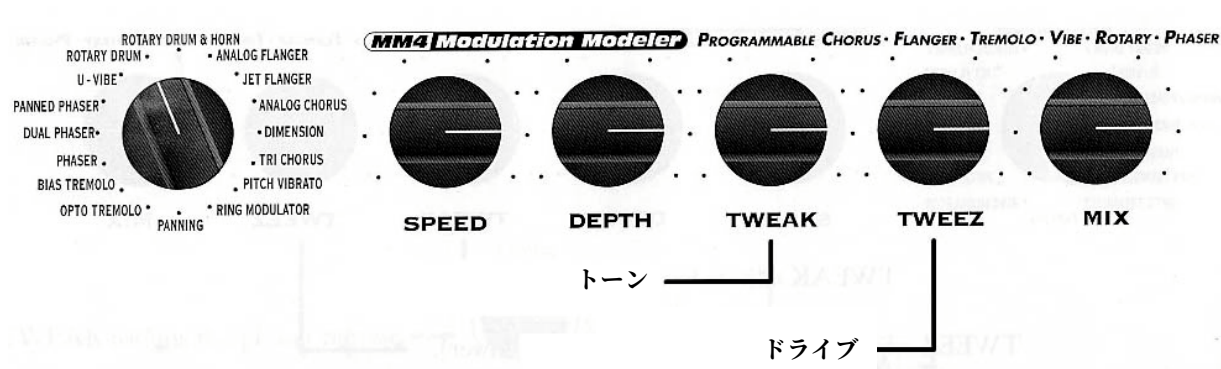
Uni-Vibe: Uni-Vibe

入力信号が高いとスピードが速くなり、低いとスピードが遅くなる優れもの



Rotary Drum

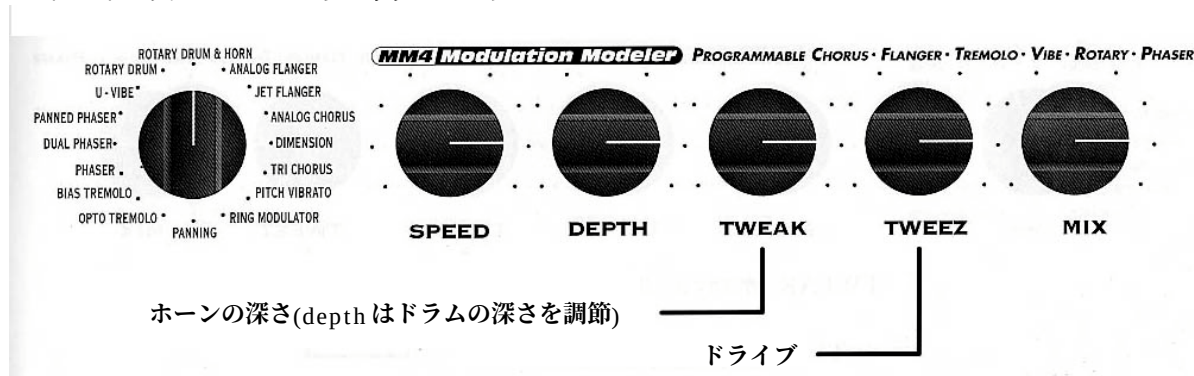
Fender:Vibratone



Rotary Drum & Horn

Leslie: 145

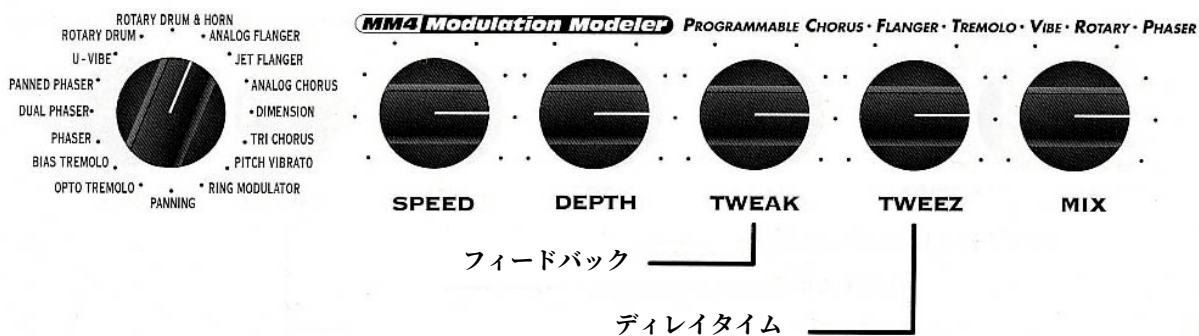
オルガン用に作られたアンプですが、ギタリストにも大人気だったアンプです。この音も部屋をぐるぐる回っているように聞こえます



Analog Flanger

MXR: Flanger

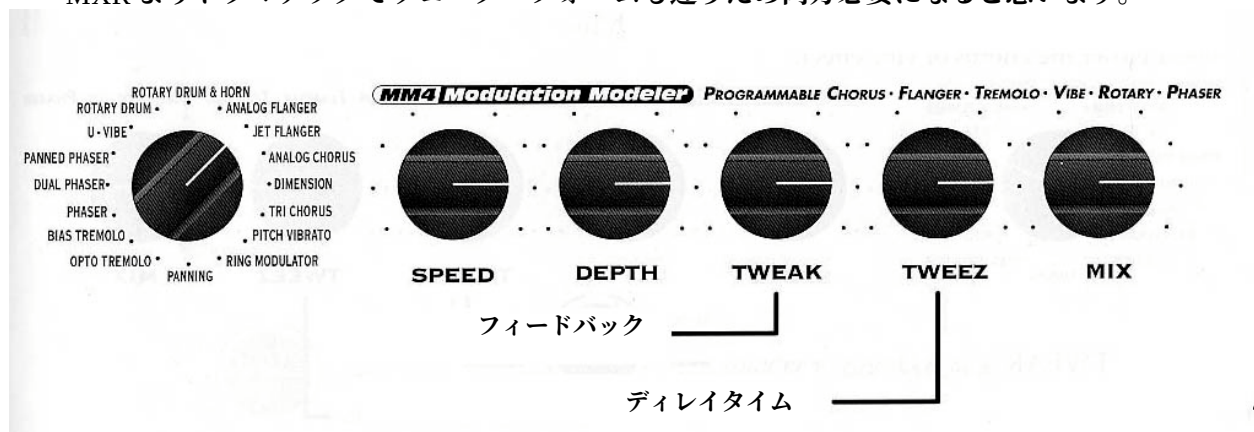
暖かいフランジャーです。"bucket brigade"アナログ回路を使用しとてもユニークなウェーブ・フォームをしています。



Jet Flanger

A/DA: Flanger

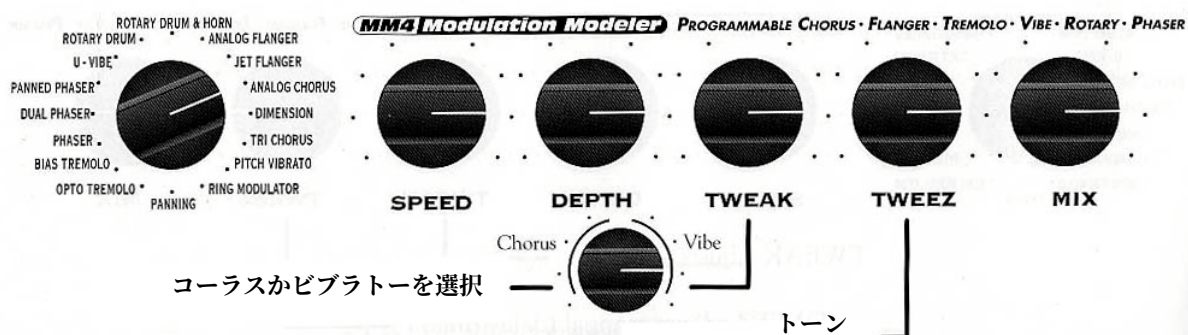
MXR よりドラマチックでウェーブ・フォームも違うため両方必要になると思います。



Analog Chorus

Boss: CE-1

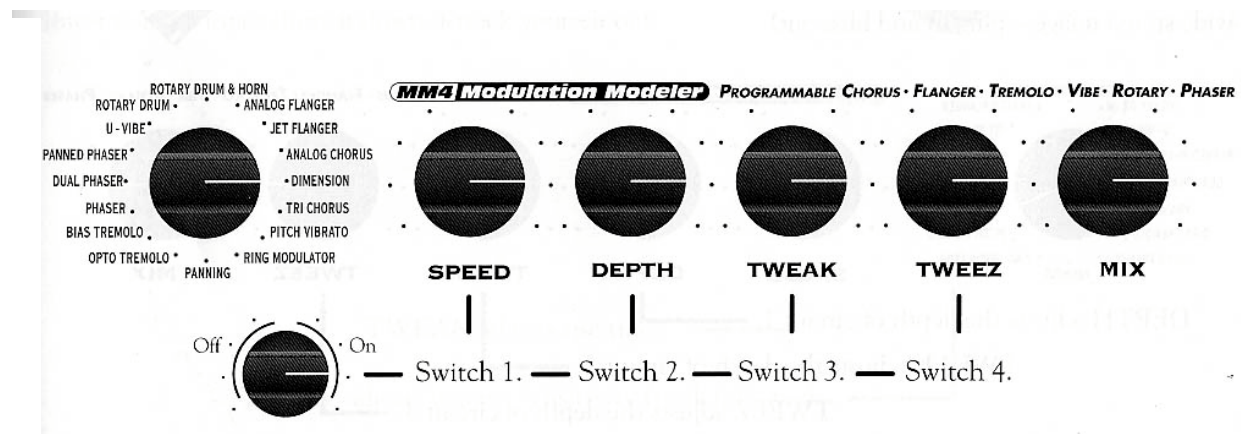
とても暖かく、大きい波を描くコーラスです



Dimension

Roland: Dimension D

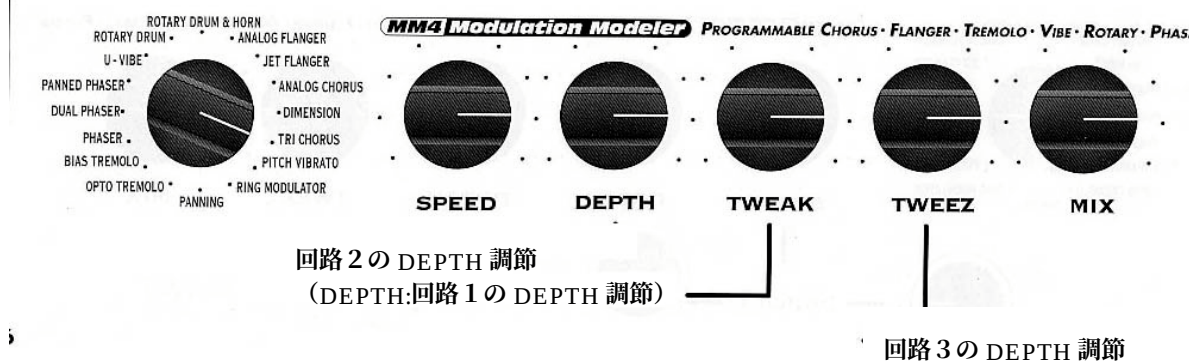
ステレオ・コーラスです。目立ちすぎず、2トラックエフェクトの中ではなくてはならない存在。



Tri Chorus

Song Bird/DyTronics : Tri-Stereo Chorus

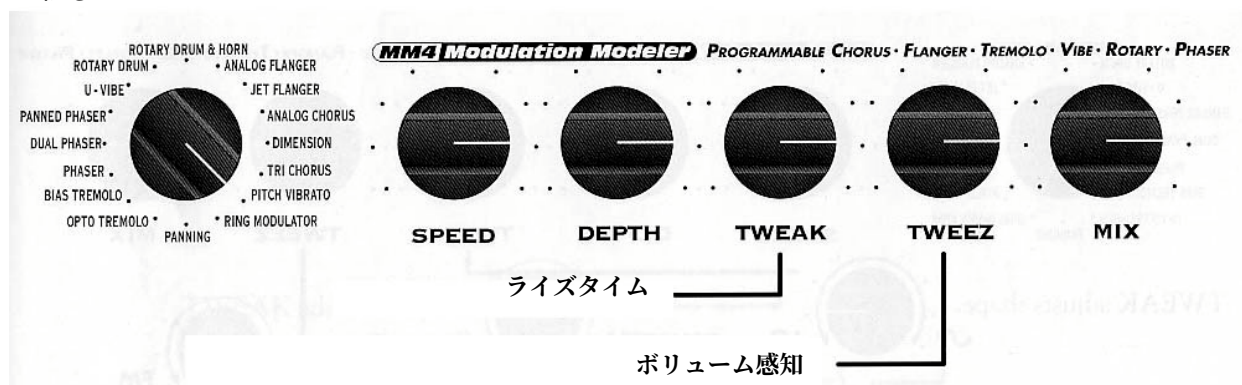
3つのコーラス回路が12の低域オシレーターと3つのディレイから生まれる素晴らしいコーラス・トーン。コーラスの王様!?



Pitch Vibrato

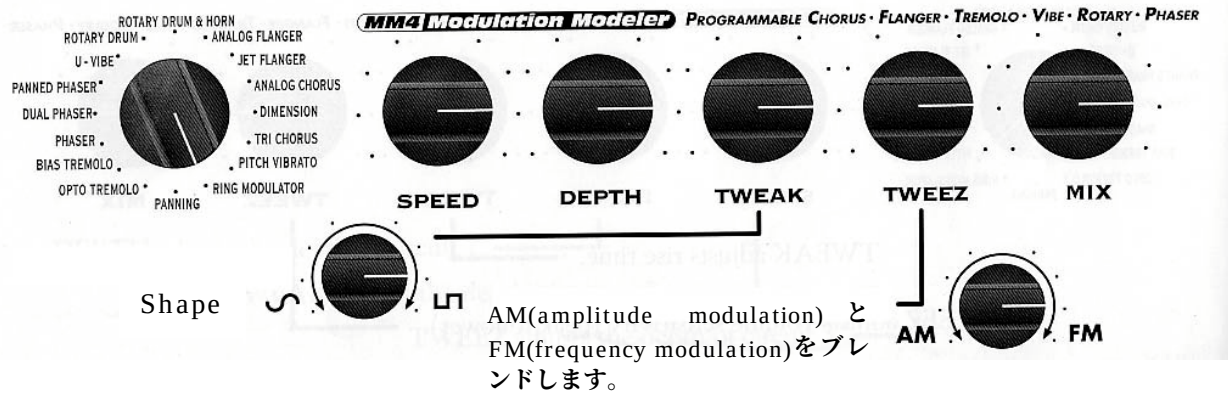
Boss : VB-2

ビブラートがもこもこしていて、ボリューム感知を装備しているためスピードが音量と比例し変わる



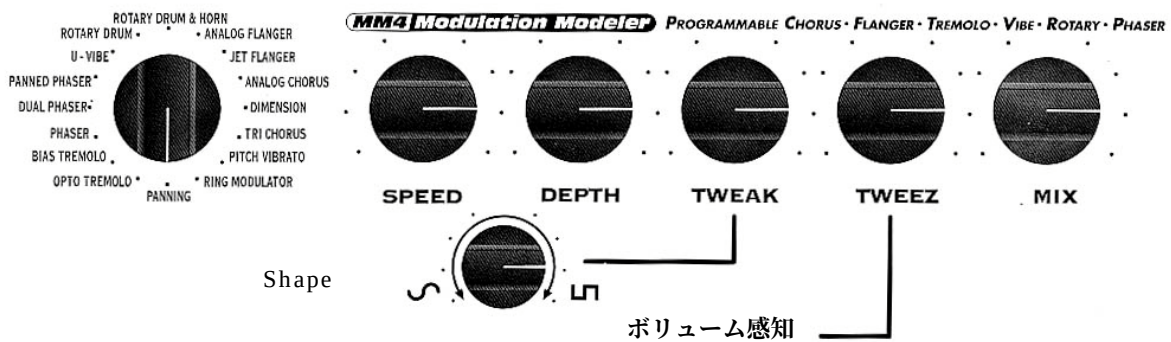
Ring Modulator

奇妙な音を求めている時に使用しましょう



Panner

左右に信号が移動します。これを使用する時は絶対にステレオ出力を使用してください。(モノラルで使用するとトレモロになってしまいます。)



DM4

DISTORTION MODELER DETAILS

次のセクションでは 16 種類のディストーション・モデラーを紹介します。

オプション・ノイズ・ゲート

ディストーション・モデラーの開発中にノイズ・ゲートがあったら便利ではないかという提案があり、4つのプリセットにこのノイズ・ゲートを搭載しました。以下の説明にそってプリセット用のノイズゲートを設定してください。

1. 必ずバイパス・モードからスタートして下さい（全てのライトが消えている状態）。プリセット・ストップ・スイッチを一つ選択し、スイッチを押したままの状態にするとプリセットが起動し、ノイズ・ゲート・モードになります。
2. プリセット・ストップ・スイッチを押したままの状態でもリウム調節をし、ノイズ・ゲートの設定を行います。（12 時の位置より右に回すとオン、左に回すとオフになります。）
3. LED により選択されているプリセットの状態を表示されます。

✕ LED 点灯＝ノイズ・ゲート・オン

✕ LED 消灯＝ノイズ・ゲート・オフ

（Jet Fuzz モードではノイズ・ゲートを使用することは出来ません）

Boost/Comp

MXR:Micro Amp

Micro Amp のレトロなディストーション・サウンドは、いまだに影響力に満ち溢れています。



MID：コンプレッションの量を調節します。

クラシックな音を得るには
Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。

Tube Drive

Chandler:Tube Driver

キーボーディストのブレント・バトラー氏が開発。12AX7 のプリアンプ・チューブが素晴らしいサステーン効果を生み出します。



MID：12 時の以上はブースト、以下はカット（12 時の位置はブーストもカットも無い）

Screamer

Ibanez:TS-808 Tube Screamer

スティービー・レイ・ヴォーンからマイケル・ランドーまでを虜にした Tube Screamer は 80 年代始めに世界に紹介されました。Ibanez から幾つもの後継機が発売されましたが、オリジナル TS-808 に肩を並べるものはありません。



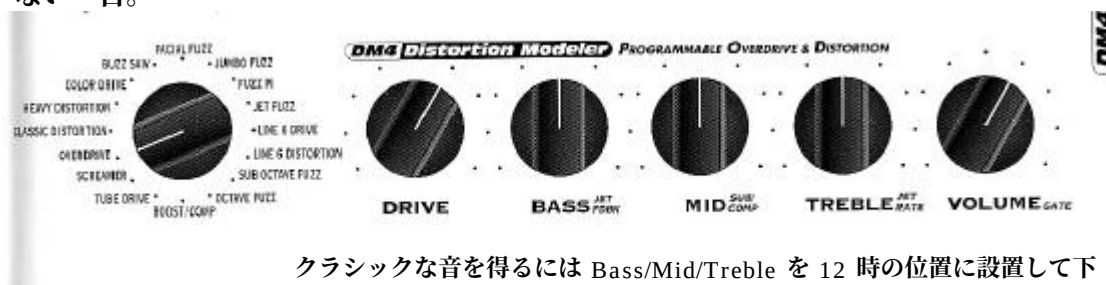
MID

トーン・コントロールはオリジナル 808 と同じように機能します。よりクラシックな音を得るには Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。

Overdrive

DOD:Overdrive/Preamp250

イングヴェイ・マルムスティーンを筆頭に多くのギタリスト達の独特のサウンド・メイクに欠かせない一台。



クラシックな音を得るには Bass/Mid/Treble を 12 時の位置に設置して下さい

Classic Distortion

ProCo:Rat

70 年代後半に発売され、新しい時代の幕開けを予感させた Rat。Fuzz に比べよりアグレッシブなディストーション・サウンドを生み出します。



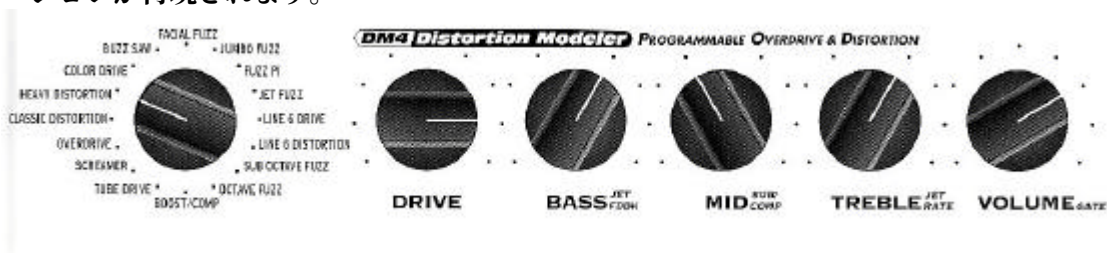
MID

Rat のフィルター・コントロールと同様のエフェクトを演出します。
クラシックな音を得るには Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。

Heavy Distortion

Boss:MT-2 Metal Zone

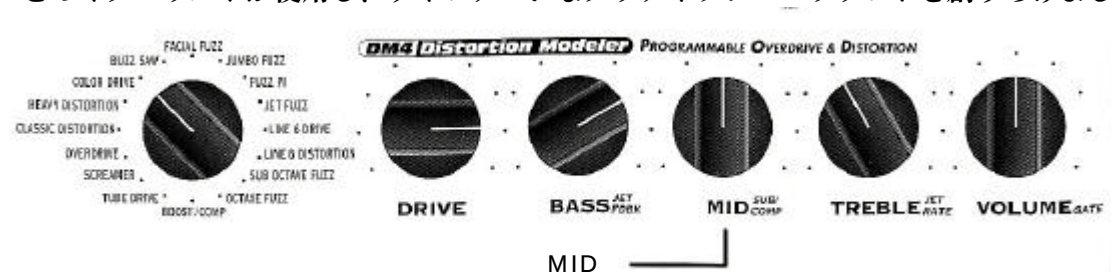
90年代初頭のメタル・ブームの頂点に産声を上げた MT-2 Metal Zone。重量感溢れるディストーションが再現されます。



Colordrive

Colorsound:Overdriver

1965 年、ロンドンの Macari's Music Exchange で鳴り響いていた Colordrive。ジェフ・ベックなどのギターリストが使用し、ヴィンテージなブリティッシュ・サウンドを創りあげました。



MID

12 時の位置より右周りはブースト、左周りははカット (12 時の位置ではエフェクト効果なし)

Buzz Saw

Maestro:Fuzz Tone

誰もが一度は耳にしたことがあるこの Fuzz トーン。伝説によると、Nashville の壊れたミキサーを通した音に感銘を受け、このサウンドが生まれたという。ドアーズのロビー・クリーガーやイエスのスティーブ・ハウなどが愛用していたクラシック・トラッシュ・トーンがここにあります。



クラシックな音を得るには Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。

Facial Fuzz

Arbiter:Fuzz Face

様々な Fuzz エフェクターの中で、サウンドとデザイン共にずば抜けて有名な Fuzz Face。ジミ・ヘンドリックスが使っていた Fuzz と同じモデルを再現。



クラシックな音を得るには Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。

Jumbo Fuzz

Vox:Tone Bender

有名な AC-30 アンプを開発した VOX が発売した Tone Bender。Led Zeppelin のジミー・ページが初期のアルバムの随所で使用していたエフェクター。ファースト・アルバムに収録されている「Communication Breakdown」が全てを証明してくれます。



クラシックな音を得るには Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。

Fuzz Pi

Electro-Harmonix:Big Muff π

このエフェクターはディストーション・サウンドだけでなく独特の「甘い」サステインでも有名。



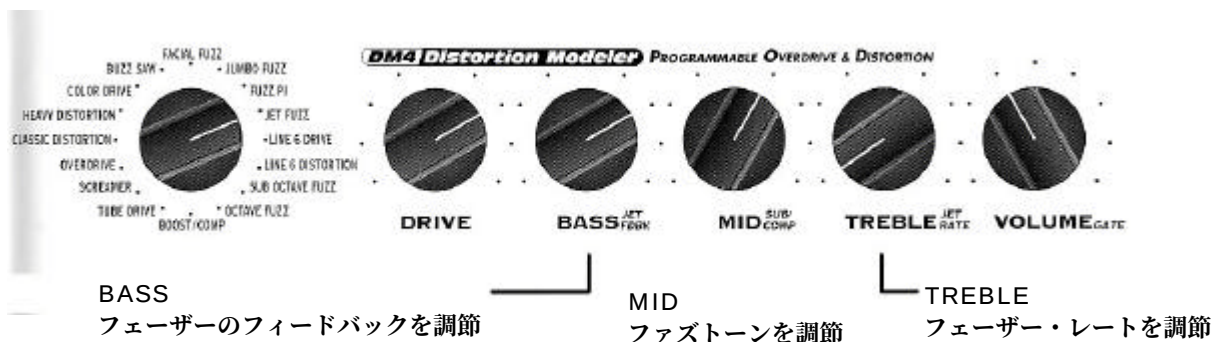
MID

オリジナル・ビッグ・マフと同じようなトーン・コントロール
クラシックな音を得るには Bass/Treble を 12 時の位置に設置して下さい

Jet Fuzz

Roland:Jet Phaser

ロック・ギターのダイナミックなジェット・サウンドを演出します。フェイザー付きとファズを組合せた、素晴らしい音。（ノイズ・ゲート・ファンクションは使用できません。）



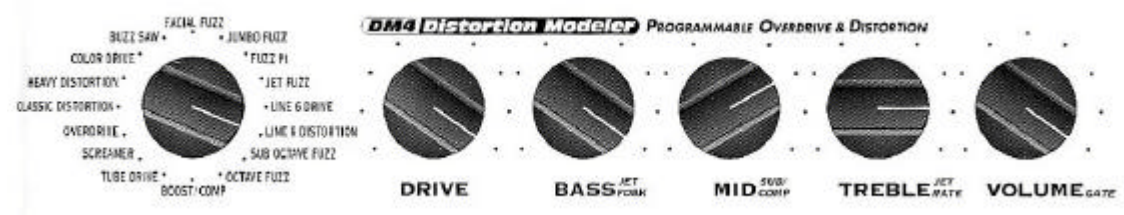
Line 6 Drive

Colorsound の Tone Bender を基に新しいエフェクトを創り上げました。Tone Bender を幅広い音に対応できるよう「スーパ・トーン・コントロール」を付けました。



Line 6 Distortion

前代未聞のディストーション！



Sub Octave Fuzz

PaiA:Roctave Divider

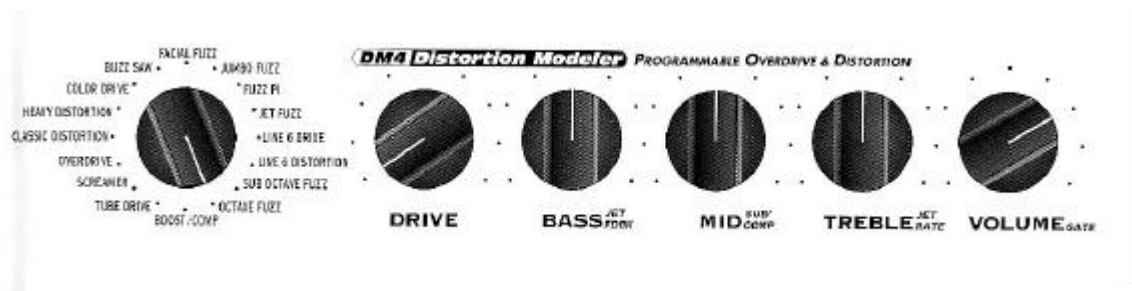
ファズとピッチシフターが一つになったエフェクター。ファズにオクターブをミックスし、より厚みのあるサウンドが生まれます。



Octave Fuzz

Tycobrahe:Octavia

ジェフ・ベックも使用していた Fuzz+Octave の代名詞とも言える一台。



クラシックな音を得るには Bass/MID/Treble を 12 時の位置に設置して下さい。